

2019年度第2回埼玉大学FD・SD研究会

教育の成果って何だろう —「可視化」議論を経て見えてくるもの—

- 大学教育が「質保証」を要求されるようになり、様々な形で教育成果の可視化が試行錯誤されています。一方で学生の成長を一元的に把握することへの忌避観も残る中、一方では多角的な視点で学修成果を見ることの重要性も認識されるようになって来ています。今回は、そうした試行錯誤の取り組みについて学び、その可能性、課題点などを広く議論できる場にしたいと思います。

➤ 日時 2019年12月17日(火)14時00分より17時30分

➤ 会場: 埼玉大学総合研究棟1階 シアター教室

➤ スケジュール 13時30分 開場 14時00分 開会

□ 第1部 基調講演

「教学IRは何を可視化するか 現状と将来」

松田 岳士 氏 (首都大学東京 大学教育センター教授)

□ 第2部 パネルディスカッション

「可視化への取り組みのその先へ」

お問い合わせ先

埼玉大学 学務部教育企画課 竹中(内線3269)